

ワンコイン浸水センサ実証実験の参加者を決定しました

浸水の危険性がある地域にセンサを多数設置し、リアルタイムにその状況を把握する実証実験を実施します。

このたび、モデル地区において、実証実験に参加し、自らの施設等に浸水センサを設置、管理する企業や団体を公募した結果、10の企業・団体の参加を決定しました。

今後、各関係者で設置箇所等を調整し、実証実験を開始する予定です。

○実証実験の目的

近年、大雨による浸水被害や河川の氾濫が頻発しており、面的に浸水の状況をいち早く把握し、迅速な災害対応を行うことが重要となっています。

そのため、民間企業と国や自治体等の様々な関係者がセンサを設置し、浸水状況を面的にリアルタイムで把握する仕組みの構築に向けて、センサの特性や情報共有の有効性等を実証するものです。(別添資料-1参照)

○参加企業・団体名(代表者名)及び実証実験実施地区 ※五十音順

- ・ あいおいニッセイ同和損害保険(株) : 愛知県岡崎市
- ・ NTTインフラネット(株) : 愛知県岡崎市
- ・ オプテックス(株) : 兵庫県加古川市
- ・ 京セラコミュニケーションシステム(株) : 愛知県岡崎市、兵庫県加古川市、兵庫県南あわじ市
- ・ (有)ジョイックス交通 : 佐賀県神崎市
- ・ 損害保険ジャパン(株) : 愛知県岡崎市
- ・ 中央大学研究開発機構 : 愛知県岡崎市、兵庫県加古川市
- ・ 東京海上日動火災保険(株) : 兵庫県加古川市
- ・ ニタコンサルタント(株) : 徳島県美波町
- ・ ワンコイン浸水センサ実証実験共同体 : 兵庫県南あわじ市

○今回の参加企業・団体からは、道路や家屋への設置をはじめ、自動販売機やガスメーターへの設置などの提案を受けており、今後、各関係者で設置箇所等を調整し、実証実験を開始する予定です。

【問合せ先】

国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室

企画専門官 外山(内線 35392)、係長 中村(内線 35394)

代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8446 FAX 03-5253-1602

浸水被害の把握

ヘリによる調査

リアルタイム性

- ・悪天候時に調査不可
- ・夜間調査不可



痕跡調査

機動力

- ・広範囲の調査不可
- ・多数の人材確保
- ・専門の技術者が必要



【既存の技術】

ワンコイン浸水センサ

センサの特徴

小型、長寿命かつ低コストで、堤防や流域内に多数の設置が可能な浸水センサ



浸水センサ例

※河川砂防技術研究開発公募で開発したセンサ

- ・小型
- ・低コスト
- ・長寿命

官民連携による浸水域把握イメージ

堤防の越水・決壊などの状況や、地域における浸水状況の速やかな把握のため、浸水センサを企業や地方自治体等との連携のもと設置し、情報を収集する仕組みを構築



【技術開発】

活用イメージ

【災害時】

- ・早期の人員配置
- （道路冠水による通行止め 避難所の開設 等）
- ・ポンプ車配置の検討

【復旧時】

- ・罹災証明（自治体等）の簡素化・迅速化
- ・保険の早期支払い
- ・災害復旧の早期対応

など

スケジュール

令和3年11月～

- ・実証実験準備会合を開催
- ・実証実験に向けてセンサの仕様や実施内容を検討・確定

令和4年3月～

- ・実証実験参加企業の公募

令和4年出水期以降～

- ・モデル自治体において、国・自治体・民間企業等にてセンサを設置し、実証実験を開始
- ・必要に応じ、エリアを拡大

（実証実験モデル自治体）

- 愛知県岡崎市
- 兵庫県加古川市
- 兵庫県南あわじ市
- 徳島県美波町
- 佐賀県神埼市